



2023 年 2 月 15 日

山下賞 2022 について

当社では、組織力の向上と設計品質を高めることを目的として、社内表彰制度「山下賞」の活動を行っております。

本年度は、「社会の様々な課題に応答し、新しい価値を生み出す建築デザイン」をテーマに議論を行い、山下賞（作品）2 点、入選 4 点を選定いたしました。

山下賞（作品）

新宮市文化複合施設

立田山お祭り広場公衆トイレ

以上 2 作品

入選

宇佐市安心院地域複合支所

大垣市庁舎

大津町庁舎

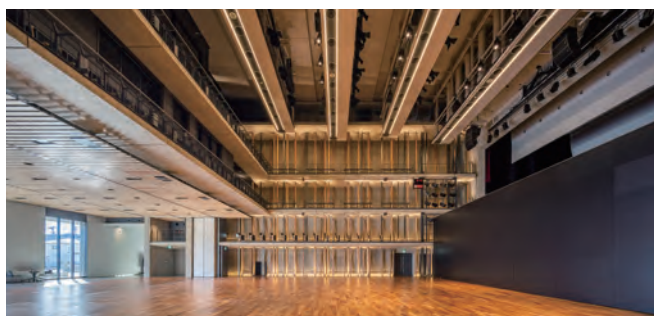
平塚市立相模小学校

以上 4 作品

新宮市文化複合施設（丹鶴ホール）



城址より見た東側外観 水平に分節したボリュームが周辺の街並みとつくる新しい風景



様々な活動の受け皿となる可変型ホール



新宮の個性的な地域景観を俯瞰する視点を持つ、回遊性のある図書館

所在地：和歌山県新宮市下本町

用 途：ホール・図書館

建築主：新宮市

設計者：山下設計・金嶋一級建築設計事務所
所設計共同企業体

設計協力：

ランドスケープ／プレイスメディア
舞台機構、舞台照明／シアターワーク
ショップ

音響／NHK テクノロジーズ
照明デザイン／Lumimedia lab
サイン／氏デザイン

構 造：RC造 一部S造一部SRC造

規 模：延べ面積 6,428.m² 地上5階

写真提供：株式会社川澄・小林研二写真事務所

「地域を俯瞰する場」と「みんなが集まり活動する広場」を積層

地域の歴史資産と美しい風景に囲まれた場所に建つ、ホールと図書館そして熊野学の調査・発信機能が併設された複合施設の計画である。地域の独特な文化・歴史と日々の日常・活動の受け皿となる建築を強く結びつけることで、地域の未来を育む新たな公共の場を生み出すことを意図した。

1階にホール、最上階に図書館を配置し、舞台や客席（ホール）、開架書架（図書館）などの大空間を中心に、その周囲をぐるりと動線や小さな活動空間が包む円環状の構成とした。図書館は、地域の歴史を保存する場として、ぐるりと回遊でき360度みわたせる「地域を俯瞰する場」とした。一方、ホールは、内部での活動の雰囲気が外から伺える開放性と可変性を兼ね備えた「みんなが集まり活動する広場」とした。

山下賞

山下賞 2022 受賞作品

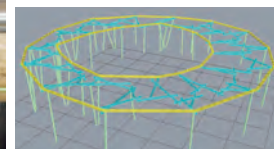
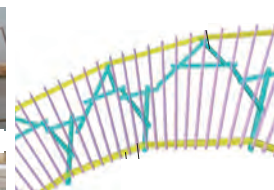
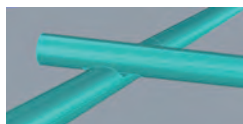
森と人の輪 立田山憩の森・お祭り広場公衆トイレ



「脱炭素への貢献」「熊本の林業の活性化」「立田山の景観に調和」をテーマとし、通常建築で活用されていない小径の「丸太」による建築



1本1本異なる表情を持つ丸太を組み合わせたレシプロカル構造



CNC ルーターを用い、一つ一つ形状の異なる仕口を持つ丸太を機械加工

丸太の建築で人と自然を繋ぐ

くまもとアートポリス事業の一環として計画された公衆トイレである。木を無駄なく使いきることを計画のテーマとし、木をほぼ100%活用できる丸太を建築材料とすることで、その価値を見直すことを試みた。JAS規格もなく、個々に長さや太さ・形状が異なる丸太を現代の解析技術・加工技術を用いて活用する方法を模索した。

施設は森・芝生広場・散策路・駐車場等、自然と人の活動の接点となる場に位置している。どの方向からも立ち寄りやすい円環状の底空間を基本に、底下にトイレブース、休憩スペース、洗面スペースを隣接する環境に合わせて配置し、立田山での自然体験をサポートする場を生み出した。1本1本異なる表情を持つ原木から樹皮を剥いだだけの丸太を組み合わせたレシプロカル構造の架構が、建築と自然との関係を深めている。大部分の木材に熊本県産材を使用し、木材乾燥・加工・保存処理等もすべて熊本県内で完結し、地域資源を活かした。

所在地：熊本県熊本市北区乗越ヶ丘

用途：公衆トイレ

建築主：熊本県

設計者：山下設計

構造：木造

規模：延べ面積 30㎡

地上1階

写真提供：八代写真事務所

入選

山下賞 2022 入選作品

宇佐市安心院地域複合支所



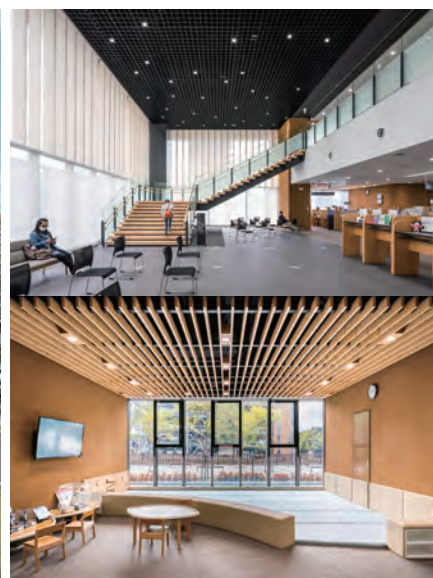
所在地：大分県宇佐市安心院町下毛
用 途：支所・公民館
建築主：宇佐市
設計者：山下設計
構 造：木造 一部RC造 一部S造
規 模：延べ面積 2,997㎡
地上2階
写真提供：設計者他

市産木材を活用した地域拠点施設の実現

支所と公民館機能に加え各種団体の事務所などを併設した複合支所である。文化・観光・交流の拠点として、地域の人々の日常的な居場所を創出した。建物の大部分を木造とし、市有林から産出された地産材木材を活用した。地域の職人の手で製材・施工を可能とするため、細い木材を組み合わせる工夫を行い大規模架構を実現している。公共建築における地域木材の試験伐採による強度・調達可能サイズの確認や、先行調達から設計・活用まで一連のプロセスを手掛けたプロジェクトである。

入選

大垣市庁舎



所在地：岐阜県大垣市丸の内
用 途：庁舎
建築主：大垣市
設計者：山下設計・車戸設計共同企業体
構 造：S造（免震構造）
規 模：延べ面積 20,855㎡
地上8階塔屋1階
写真提供：近代建築社

まちに開かれた地域活性拠点の創出

歴史的資産が数多く残る城下町にある庁舎の計画である。庁舎西側の観光客や市民の憩いの場である川沿いの遊歩道・公園と、東側の市民の生活動線につながる都市軸を敷地内で結びつけること中心市街地の回遊性を高め、ウォークアブルなまちづくりのハブとなる市庁舎を目指した。結びつきを強めた外部空間に沿って、イベント広場やロビー、多目的スペース、テラスを立体的に配置し、多様な市民活動の舞台を設けることで、賑わいを紡ぎまちに開かれた新たなシンボルとして計画した。

入選

大津町庁舎



新旧をつなぐ人と環境にやさしい庁舎

所在地：熊本県菊池郡大津町大字大津

用 途：庁舎

建築主：大津町

設計者：山下設計・パオブラウン熊本 業務委託共同企業体

構 造：RC造 一部S造（免震構造）

規 模：延べ面積 7,470㎡ 地上4階 塔屋1階

写真提供：株式会社エスエス

地方の新旧市街地にはさまれた場所に位置する庁舎である。敷地北側の歴史性のあるまちに向き合う建物配置とし、庁舎の正面に既存施設と一体で新たな広場を創出した。新しい広場・庁舎の段状テラス・ロビー窓口が、一体で地域の人々のコミュニティの拠点となることを目指した。地球環境への影響を最小限に抑えるように環境負荷軽減策を取り込んだ環境配慮型庁舎としており、ZEB Ready を取得している。

入選

平塚市立相模小学校



所在地：平塚市大神字中内出

用 途：小学校

建築主：平塚市

設計者：山下設計

設計協力：外構計画／ソラ・アソシエイツ・スタジオモンス

構 造：RC造 一部S造

規 模：延べ面積 6,531㎡ 地上2階

写真提供：株式会社エスエス・近代建築社

こどもと地域が共に成長する学校づくり

古くからある街と新しい街の接点に位置する小学校である。地域のコミュニティ拠点として、こどもの場所としてだけでなく地域の住民を結びつける場として小学校をとらえ直した計画である。敷地の一部を公共空間として街に提供し、こどもたちを地域の方々と一緒に育てる交流の場所づくりを行った。周囲住宅地に積極的になじむ外観でありながら、内部に多様な環境と場所を創出している。